

令和3年度 第2回 三方原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 3月3日（木） 9時00分から10時30分まで
- 2 開催場所 三方原小学校 会議室
- 3 出席委員 富永 厚平、小島 信夫、峰野 郁夫、長谷川 米子、  
杉山 まり子、大石 千恵子、西村 圭一郎、中尻 佳代
- 4 欠席委員 無
- 5 学 校 岩瀬 隆伸（校長）、松下 欣美（教頭）、  
高山 ひかり（CS担当教職員）、藤原 明子（学校支援コーディネーター兼  
CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 無
- 7 協議事項
  - （1）活動報告及び決算報告
  - （2）議長の選出について
  - （3）熟議
    - ・令和3年度学校評価集計結果について
    - ・令和4年度学校運営方針について
  - （4）その他
    - ・令和3年度「通学路整備要望調査」の結果についての御報告
  - （5）連絡
- 8 会議録作成者 CSディレクター 藤原 明子
- 9 会議記録  
司会から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）コミュニティ・スクール活動報告及び決算報告

- ・学校支援コーディネーターから1年間の活動を資料に基づき報告をした。
- ・教頭よりキャリア教育を踏まえた活動及び表彰実績とCS加算分決算の報告をした。

（2）議長の選出について

- ・司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、立候補及び推薦人が居なかったため、事務局より杉山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（3）熟議

○令和3年度学校評価集計結果について

- ・議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校評価集計結果について説明をした。肯定的な意見の割合が多い。キャリア教育を未来へ繋ぐ学びとして、教員たちは、今受けている

授業が社会に繋がる事を子供たちに説明している。他、ゲストティーチャー等、年間繰り返す事により結果があがると思う。(校長)

この結果報告について委員からは、以下の発言があった。

- ・肯定が低い項目については、内に秘めた何かがある子がいると思う。先生方はそれをフォローしているか。(富永委員)
- ・各担任、状況を把握し指導に励んでいるが、なかなか変えられない事もある。学校としては、例年実施している“いじめアンケート”に加え、今年は校長室前に“いじめ相談箱”を設置し、いじめに関して手厚く対応している。これからも更に指導していきたいと思う。(校長)
- ・肯定率が100%の項目がある、肯定率の低い項目も先生問題意識を捉えてそれを追究出来る事が大事だと思う。(富永委員)
- ・だいたいそう思うも含めの100%であり、高い項目も低い項目も教員の問題意識の向上に繋げていきたい。その他、学校ではけがの頻度が目につく。医者にかかるケガを目標値に抑えたいが多数あるのが現状。体育のケガも注視したい。加え、挨拶の仕方も気になっている。校内で人を判断してあいさつをしない子供を見かける。(校長)
- ・問題点として捉え、先生方が意識して指導していただきたいと思うが、昨今の世の中で不審者等の問題もあり、あいさつが100%いいのか疑問に思う点もある。毎朝、一緒になる学生が“いつもありがとうございます”と話しかけてくれた。うれしい反面戸惑いもある故に、慣れが必要だと思う。この地域の子は良い子が多いと思う。(富永委員)
- ・その他、音楽鑑賞について、生の演奏を聴く機会はありますか？とても良い事だと思うので。(長谷川委員)
- ・今年度はリコーダー奏者に来てもらった。来年度は劇団を予定している。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### ○令和4年度学校運営方針について

- ・議長の指示により、校長から別紙資料に基づき説明をした。  
アンケート結果より、本校の子供は、話す・聞く事の項目も向上。思いやりの項目も向上。体育も向上しているが、コロナ関連によりボール使用中止等で投力を伸ばせなかった。キャリア教育は核。将来に繋がると感じている。  
グラウンドデザインについては最終的に“自分らしさを磨く子供”を育てたい。校内で研修をする事で来年度に繋げていきたい。  
キャリア教育の4つの項目も子供に分かりやすい言葉に変えて指導していこうと考えている。(校長)
- ・方針は問題なく思う。その為に何をしていくかが課題。他、反省点としてコミュニティ・スクールについて1年目を終えた。推進校と比較すると、そこに追いつくのは難しいと感じる。近づくには何をしたらいいかの指示がほしい。中間目標があるとよいと思う。(富永委員)
- ・この学校運営協議会があるのがコミュニティ・スクール。進んで話し合っているが、来年の

課題としたい。(校長)

- ・学校運営協議会があるのがコミュニティ・スクールのスタイル。任期3年の中で形づくり。地域によって違うので、学校の事を協議会等で知り、熟議していただければと思う。(堀田指導主事)
- ・この協議会での修学旅行の熟議がよかった。単独ではなく委員の熟議が助かった。(校長)
- ・修学旅行、延期になったがコロナ感染症が一旦落ち着いた時期に実施できてとてもよかった。(西村委員)
- ・アンケートの中の“言葉で伝える”項目が低いと感じるが、大人でも苦手な時もある。場数をこなす授業の中で取り入れていただけるとよいと思う。(中尻委員)
- ・私も子どもの頃苦手だった(校長)
- ・ベルマーク収集にてボールを寄付。ぜひ投力アップにつなげてほしい。(西村委員)
- ・人と人、グループでの会話は大丈夫だが、会議等の人前で話す事が難しい子どもが多い。話したくなる問いや、誰が何を言っても笑わない事、話合いがキャリア教育として、大人になっても大事という事を教えたい。(校長)
- ・対話は子ども達の中に“今、何を話すか”その気持ちを考えさせる努力、教師が褒める事も大事だと思う。(杉山委員)
- ・朝の会等でも、いろいろな質問を子供たちに投げかけている。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 令和3年度「通学路整備要望調査」の結果について

- ・資料を基に教頭から報告があった。
- ・他にも要望を出したい箇所があるので、学校側からも要望を出していただきたいと思う。(富永委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (5) その他報告事項等

- ・令和3年度学校運営協議会自己評価表の実施について委員に依頼。
- ・次年度協議会は、令和4年5月18日(水)を予定。会議室で開催する旨の報告があった。